

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 飛騨市公共交通会議

平成18年11月9日設置

フィーダー系統 平成29年6月13日 確保維持計画策定等

## 【主な方針】

最低限のサービス水準を極力確保し、効率的で低コストな地域公共交通網を形成し、維持する。

## 【目標】

- 整備・運行 : 市民のQOLの保障 (通学・通院・買物の足)
- 持続性 : 一定の事業費内で維持、一定の収支率、利用者数の増加
- 利用促進・啓発 : 市民の理解度向上、意識改革、観光客の満足度向上

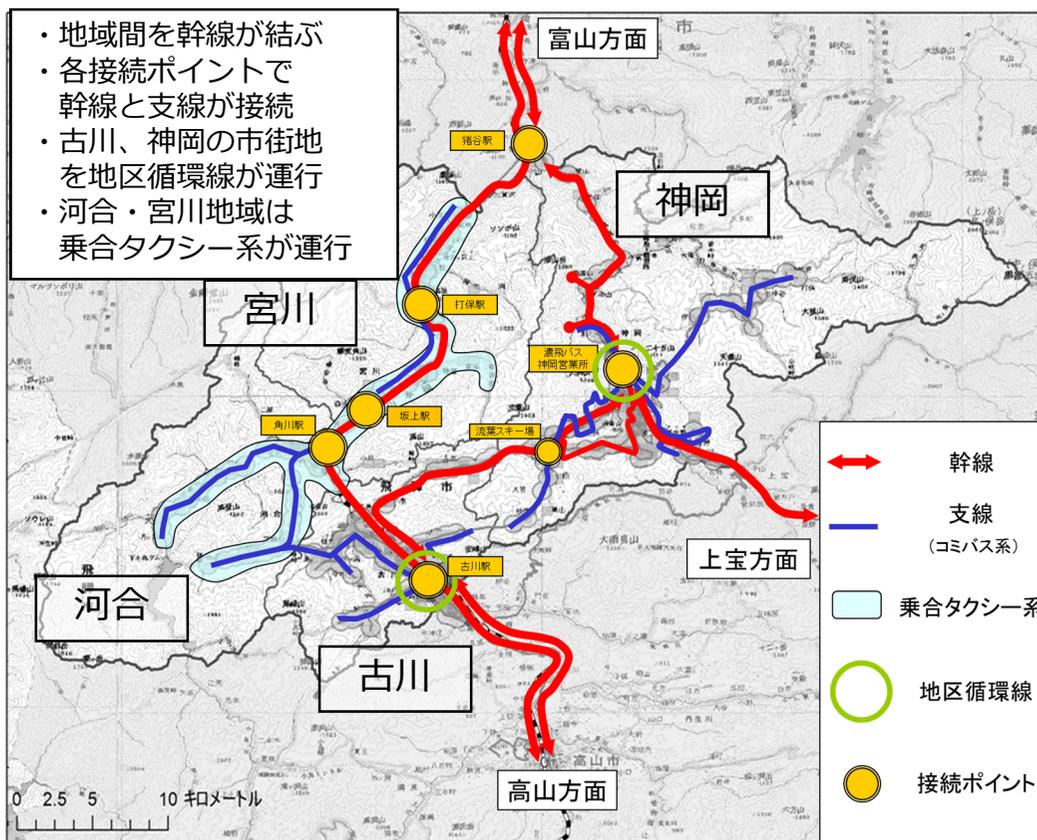
## 【期間】

飛騨市地域公共交通網形成計画  
及び地域公共交通再編実施計画  
平成27年度～平成31年度

### 地域の特性

古川町	他の移動手段などが多く、公共交通を利用する文化がない。
河合町 宮川町	集落が点在している。以前よりデマンド運行実施。
神岡町	町中でも高低差があり、公共交通の利用が多い。

■公共交通体系



事業名	内容	効果
公共交通モニタリング調査及び評価検証 (再編計画推進事業)	評価検証に必要な各種調査の実施及びデータの取得、並びに評価検証	現状の利用状況の把握 路線見直しにかかる精度向上
わかりやすいバス停の案内表示の作成 (再編計画推進事業)	バス停への基本的な情報(路線・ダイヤ・運賃)のわかりやすい案内掲示	利便性の向上 利用者の増加
車両の改修	一部の車両について、自動ドア・自動ステップ・手すりを設置 (河合・宮川乗合タクシー)	利便性の向上 利用者の増加
定期券への公的補助額の見直し	定期券料金への届出運賃との差額負担を減額(利用者負担額を増額)	事業費の削減 利用者の意識改革
いきいき券(タクシー助成券)の市営バス利用	いきいき券の市営バス利用開始	利便性の向上 利用者の増加

※いきいき券：市内在住の70歳以上の方又は障害者等手帳所持者を対象に配布する助成券

### 3.計画の達成状況の評価に関する事項

区分	目標（H31末）	指標	実績	評価
整備・運行	市民のQOLを確保	整備状況の納得度 70%	平成30年度調査実施 （速報値では70.4%）	○
持続性	市営・赤字補填バスを一定の事業費で効率的に維持	平成25年度未満 97,114千円 ※4月～3月	94,710千円（運賃等への公的補助31,938千円除く） ※4月～3月	○
	市営バスの収支維持	10%	平成29年度 5% （フィーダー補助路線9%）	△
	利用者数増加	10%増加 82,120人	54,278人	×
利用促進・啓発	市民の理解度、維持に協力する比率の増加	市民協同のバス運営の導入意向 ※前回公共交通への転換意向 40.4%	平成30年度調査実施 （速報値では66.8%）	○
	観光客の満足度の向上	観光客の満足度	平成31年度調査実施	—

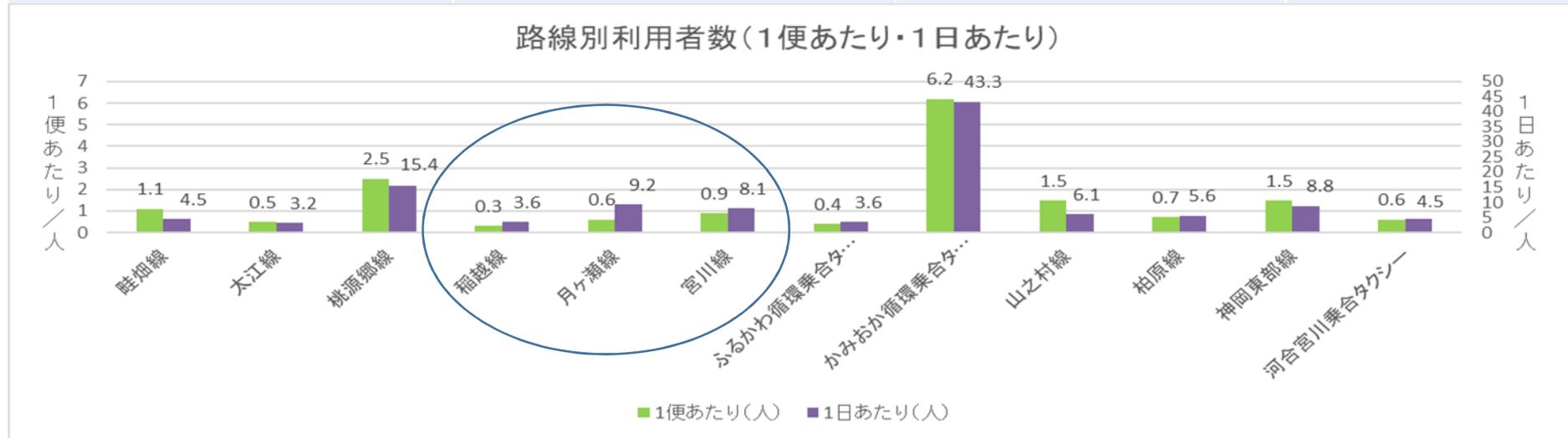
## 【各路線の状況】

路線名 ※フィーダー補助路線	H30 実績値	H29実績	H29からの 増加率	H28実績	評価	参考：網形成 計画の目標値
高山神岡線（幹線）【参考】	189,268	178,075	6.3%	169,106	達成 A	—
神岡猪谷線（幹線）	6,437	6,668	−3.5%	5,704	未達成 B	7,600
吉田線（幹線）	16,738	14,904	9.9%	19,559	未達成 B	1,430
畦畑線	1,097	948	15.7%	753	達成 A	1,250
太江線	788	782	0.8%	780	達成 A	5,570
桃源郷線(※)	4,955	4,055	22.2%	2,688	達成 A	19,770
稲越線	1,060	1,376	−22.9%	1,962	未達成 C	10,210
月ヶ瀬線	2,669	2,795	−4.5%	2,587	未達成 B	9,480
宮川線	2,382	2,904	−18.0%	2,556	未達成 B	9,610
柏原線(※)	1,393	1,566	−11.1%	1,527	未達成 B	7,440
神岡東部線(※)	2,167	1,857	16.7%	1,368	達成 A	1,570
山之村線	1,501	1,615	−7.0%	1,497	未達成 B	2,750
ふるかわ循環乗合タクシー	874	835	4.7%	758	達成 A	1,360
かみおか循環乗合タクシー(※)	10,607	10,277	3.2%	6,494	達成 A	1,220
河合・宮川乗合タクシー	1,610	1,338	20.3%	1,317	達成 A	2,440
合計	54,278	51,920	4.5%	49,550		

## 【評価の考え方】

H30実績値について、H28及びH29からの増減により、A・B・Cで評価

課題	取り組み	見込める効果	予定時期
河合町及び宮川町のバス利用者数の減少	稲越線、月ヶ瀬線、宮川線、河合・宮川乗合タクシー見直し	事業費の削減、収支率、利用者数の向上	平成31年10月
利用促進活動の不足	高齢者、子ども向けの公共交通教室の実施	利用者の意識改革、利用者数の向上	随時
事業者の人手不足による事業縮小・撤退	運行事業者との情報交換会の開催（年2回程度）	持続的なサービスの提供	平成31年4月以降
幹線（神岡猪谷線及び吉田線）の見直し検討	要因分析を行ったうえで関係者とともに対応策を検討する。	持続的なサービスの提供	平成31年10月



河合町及び宮川町の路線は、利用が低迷し続けている。一方、河合宮川乗合タクシーは増加しており、地域全体での見直しが必要。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 飛騨市公共交通会議

平成18年11月9日設置

フィーダー系統 平成29年6月13日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
市民にわかりやすい資料を作っていたきたい。	専門的な用語を極力避け、わかりやすい資料作りを行いました。	今後も分かりやすい資料の作成に努めます。
住民の意見を確認し、路線1つ1つではなく公共交通全体をととしてどうするか考えていただきたい。	見直しの検討にあたっては、アンケート調査、回答者への個別訪問、乗り込み調査等を行い、住民の意見を確認しました。	今後も同様のヒアリングを実施し、市営バス路線だけではなく、事業者路線の状況も含めて見直します。
収支率が下がっていることの考察ができていない。	委託費の高騰は認識していますが、改善に向けた詳細な要因分析ができていません。	モニタリング調査結果等を基に利用の少ない路線の減便と利用者増加策を進めます。
神岡高山線も市営バスとともに評価していただきたい。	乗車人数が増加している実態を把握しているものの、具体的な要因は分析できていません。	モニタリング調査結果により検証します。
毎年変更していると利用促進ができなくなる。	路線と系統を維持し利用状況を確認しました。	モニタリング調査結果を基に次期網計画で路線や系統を見直します。

### ■ダイヤ・ルート変更等

H29.11 利用者からの要望を検討

⇒ 変更反映

○神岡東部線のルートについて地区要望により  
ルートの拡大及びダイヤ変更

16.7%の利用者数増



### ■河合・宮川地域での公共交通空白地有償運送による タクシー的サービスの廃止による代替措置

○廃止及び河合宮川乗合タクシー（タクシー事業者  
への委託）への移行について

- ・利用登録者へのアンケート調査を踏まえた移行
- ・地域の会合での説明、広報紙・HP・CATVでの広報
- ・全登録者へ通知、個別訪問及びお試し利用券の配布

⇒スムーズな移行 739人→908人へ増加（+23%増）

デマンド式ポニーカー廃止に  
伴う代替手段について

ポニーカー（河合・宮川地区で運行）が、  
**平成30年3月31日**をもって廃止となります。

4月1日からは、

「ひだまる 河合・宮川乗合タクシー」へ  
全面的に切り替えます。是非、ご利用ください。

**（予約 0577-63-2270）**

問：総務課(0577-73-7461)、河合振興事務所(0577-65-2221)、宮川振興事務所(0577-63-2311)

### ■ 市単独補助による幹線（民営バス路線）の値下げ

（市運営路線と同一の運賃体系とするため）の継続

- 高校通学定期 年間約 20 万円 → 7 万 2 千円へ値下げ  
（※最高 12 万 8 千円の補助）

- ⇒ ① 通学費用の低額化による高校進学の実現性の増加
- ⇒ ② 飛騨神岡高校、吉城高校へのバス通学生徒が増加
- ⇒ ③ 市内高校の存続に寄与

### ○ 補助金額の設定見直しによる事業費削減

- ・ 年間定期券は現状維持、短期定期券は補助率を正規金額の割引率に合わせ、補助金額の見直しを実施
  - ・ 中学 3 年生保護者、高校生保護者へ説明
  - ・ その他議会への説明、広報紙等による市民への周知
- ⇒ H 3 0 . 9 現在において、前年比 2 5 5 万 3 千円の事業費減

### ■ 乗継停留所の環境の改善

- 流葉スキー場バス停付近に待合所を設置
  - ・ 周辺地域で清掃等ボランティア作業の実施 ⇒ 市民意識の向上
  - ・ 待ちやすくなったとの利用者からの声

飛騨神岡高校へ進学を考えている皆様へ

高校通学には公共交通（民間バス）をご利用ください。

市では、通院通学費を支援する目的で公共交通を運賃し、民間バスの運賃についても市営バス運賃との統一を図るため、本来の運賃との差額を負担しています。定期券については、市内は、年間 72,000 円、神岡地区は、48,000 円とし、利用者の負担軽減を図っています。  
※飛騨市外の部分は別途通学料金がかります。  
※1 年間の定期料金です。

例) 古川駅前～飛騨神岡高校へ通う場合  
市営バス年間特約定期券：217,930 円  
差額の 145,930 円を市が負担！  
利用者の負担：72,000 円

ぜひ、この機会に飛騨神岡高校への進学をご検討ください。

Q1. 通うためにはどんな路線があるの？

飛騨神岡高校へ繋がるバス路線は下表のとおりです。(429,728 円)  
このほか、市内には市営バス路線が複数あります。



### ■ 車両に自動ドア、ステップ、手すりを設置

⇒高齢者、障がい者の乗り降りのしやすさを向上



### ■ いきいき券のバス利用への拡大

○入浴施設、鍼灸院、タクシー、宅配弁当等の利用の際に100円分として利用できる飛騨市いきいき券

(70歳以上へ45枚配布)の利用範囲をH30.4から市営バスへも拡大

⇒バスでの利用件数1,837件

### ■ 人口減少・少子高齢化先進地でのバス利用者数の増加

⇒網形成計画及び再編実施計画後に人口は1,481人減少していく中でバス利用者数は472人増加している。

